# 経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第２４９４号　　２０２０年０２月１７日（月曜日）


《 virus scare didn't move markets yet 》

「ワイルドカード」は、今のところ相場をワイルドに動かす要因にはなっていない。マーケットがその動向を注意深く見ていることは確かなのだが、世界の株式市場にはある程度予想された下方硬直性が見られて、カードが相場の基盤を壊して下抜けする力はない。逆に市場関係者の多くは安値拾いのチャンスを窺っているような印象で、「ワイルドカード」関連（例えば患者数の増加ペースの減退など）を含めてどこか好材料探し中といった雰囲気もある。

「ワイルドカード」とは、中国湖北省・武漢を感染源として世界に広まっている新型コロナウイルスだ。中国が患者かどうかの判定基準をいじったりしているし、そもそも統計が最初から整備されていたのかの疑問があって、「趨勢」がどちらを向いているのかは分からないが、少なくとも中国での患者数や死者の数は累積で増え続けている。但し患者数の増加ペースそのものにはダウンの兆候もある。

湖北省と武漢市のトップが代わったばかりということもあって「今がヤマ場」との判断から、同省は 16 日夜に 6000 万人の同省居住者に対して「個人車輌の無期限使用禁止、全住民に対する自宅への逼塞（3 日に家族一人の外出を除く）、集合住宅での出入り口は一カ所に限定、薬局・ホテル・食料品店など一部を除き全ビジネスの閉鎖」などの措置を打ち出した。また北京市は市外から同市に入ってくる全ての人に対して 14 日間の検疫を求める方針だ。首都防衛の大号令と受け取れる。

中国を除けば、世界での患者数や死者の数は依然として少ないし、重篤化率や致死率は依然低いと考えられる。それまでの３人（フィリピン、香港、フランス）に加えて死者は日本や台湾で出た。ただし懸念されるのは日本や台湾で「市中感染」が広がっている可能性が高まっていることだ。その他の国では感染者の「感染経路」は見えるが、日本と台湾の新たな感染者の中には経路が追い切れないケースが出ている。つまりそれは「市中感染」が広がっている事を示す。

中国国外での死者の増加は大きなニュースになるが、先週までに書いた今回の新型コロナウイルス肺炎の特徴に関して、見方を大きく変える必要はないように思える。つまり

１．感染しても重篤化するケースはそれほど多くはない
２．その中で死に至るケースは稀

３． 亡くなられた人の多くは糖尿病などの疾患を抱えた方が多い

などだ。死者の増加、各国の措置など関連ニュースが重層化しながら多くなっても、マーケットが病気そのものに見ている「材料性」は、今のところこうした３点だろう。

問題は、中国に加えて日本や台湾で市中感染が広がる中での経済的、長期的影響だ。ヤフーやNTTなどを中心に「在宅勤務の推奨」「時差出勤」などの動きが出ているのはそれほど直接的な影響は少ない。しかし政府の専門家委員会が推奨している

「人混みを避ける」

「不要不急の集まりの自粛」

などが関連国の経済活動にどの程度影響するかだ。今のところそれは軽微だと思われるが、長引けば小売不振などの影響が出る可能性がある。また人の移動制限や都市機能不全から、中国がサプライチェーンから外れかかっていることも懸念材料だ。

《 MAGA is very resilient 》

世界の株式相場の下方硬直性、故のドル・円相場の 109 円台後半での安定推移を支えているのは、長期的視点を持ったファンドの買いが優勢だからとの見方が強い。つまりそもそも新型コロナウイルスの流行を「それは短期的な話」と即断できるような資金が動いているとの見方だ。背景には

１． アメリカ経済を中心に世界経済への先行き楽観論
２． 世界の低金利状態の長期化
３． 新型コロナウイルスの経済への影響が深刻化した場合の中銀による新たな緩和措置

を織り込んでいる。一般的にハイテク関連企業への新型コロナウイルスの影響は少ないと考えられるが、今の世界の株式相場を先導しているのはこうした銘柄であり、トランプ大統領はそれらを「MAGA」（make America great again に引っかけて　マイクロソフト、アップル、グーグル、アマゾンを指す）と呼ぶ。

つまり今のアメリカの株式市場は、経済的に対峙関係にある中国経済のある程度の苦境くらいでは揺るがない構造を持つとも言える。問題はそれがどの程度続くかだが、それはまだ分からない。なので、新型コロナウイルスは引き続き「ワイルドカード」ではあり続けるだろう。

日本経済に関しては、既に顕著に表れている訪日中国人の減少や、イベントの中止・順延といった状態がどの程度響くのか。それにサプライチェーンの重要部分を担う中国の経済活動の停滞などがポイントだ。湖北省以外では 10 日から工場が再開し始めている地域もあるが、地方政府による操業許可証の発行が間に合わずに稼働の先送りを余儀なくされるケースも少なくなく、時間の経過の中でしか実際の影響度合いは分からないだろう。

－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－

今週の主な予定は以下の通り。

| | |
|---|---|
| ０２月１７日（月曜日） | 10～12 月期 GDP |
| | 1 月首都圏新規マンション発売 |
| | タイ 10～12 月期 GDP |
| | 米国市場休場 |
| ０２月１８日（火曜日） | 5 年国債入札 |
| | 独 2 月 ZEW 景況感指数 |
| | 米 2 月 NY 連銀製造業景気指数 |
| | 米 2 月 NAHB 住宅市場指数 |
| | 米 12 月対米証券投資 |
| ０２月１９日（水曜日） | 12 月機械受注 |
| | 1 月貿易統計 |
| | 1 月訪日外客数 |
| | トルコ中銀金融政策決定会合 |
| | 米 1 月生産者物価 |
| | 米 1 月住宅着工件数 |
| | 米 1 月建設許可件数 |
| | 1 月 28、29 日開催の FOMC 議事録 |
| | インド市場休場 |
| ０２月２０日（木曜日） | 20 年国債入札 |
| | インドネシア中銀政策金利発表 |
| | 米 2 月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数 |
| | 米 1 月 CB 景気先行総合指数 |
| | 米 30 年インフレ連動国債入札 |
| ０２月２１日（金曜日） | 1 月消費者物価 |
| | 12 月全産業活動指数 |
| | イラン議会選挙 |
| | 米 1 月中古住宅販売件数 |
| | インド市場休場 |

これらとは別に、22～23 日にはサウジアラビアの首都リヤドで 20 カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議が開かれる予定。新型肺炎の感染拡大なども議題となるが、この会議にはムニューシン米財務長官や麻生太郎財務相が出席、日米財務相会談が予定されている。新型コロナウイルスの感染拡大や世界経済の減速懸念などについて話し合われる見込み。市場の一部には、こうした一連の話し合いを受けて、週後半には世界経済への影響

を最小限に抑えるため主要国が協調するとの期待もある。

経済指標では、米 2 月ニューヨーク連銀製造業景況指数、米 1 月住宅着工件数、米 1 月 PPI（生産者物価指数）、米 2 月フィラデルフィア連銀景況指数、米 1 月中古住宅販売件数などが注目。1 月開催 FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨が公表される。実質的な量的緩和とみなされている米 T ビルの購入についてパウエル FRB 議長は、直近の議会証言で縮小する方針を示唆。前回 FOMC で踏み込んだ議論がなされていた事が議事録で示されれば、相場の変動要因となる可能性がある。

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。随分と温かい二日間でした。土曜日から日曜日にかけては小田原や熱海にいましたが、訪れた小田原城の梅が実に綺麗でした。白梅、紅梅。別にこの温かさだけで咲いたとは思いませんが、コートなしで歩ける中での梅見物は楽しかった。多分大阪城周りの梅も相前後して綺麗に咲いているのだと思います。

もっとも日本列島は西からこの週初に寒波襲来とのこと。温度の急激な変化や雪などに気を付けましょう。

－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－　－

先週は、火曜日だったと思いますがアカデミー賞を受賞した韓国映画「パラサイト　半地下の家族」を見ました。六本木ヒルズの一番遅い午後 9 時過ぎの回。それでもかなり人が入っていた。

映画を見ながら思い出していたのは、イギリスの映画監督ケン・ローチが「万引き家族」の監督・是枝さんとのテレビの対談番組で語っていた言葉でした。「貧困は、実にいろいろなところに表れる。着ているもの、その人の態度、言葉のちょっとした違い、肌の色艶、そして臭い。なので私は貧困がテーマの映画では俳優は使わない。現実に貧しい生活を送っている人を登場させる。そうでないと現実味がない。あなたは万引き家族を撮影するとき、どうしましたか....」

概ねそういう発言だった。是枝監督はちょっと逡巡して選別の時に考えて選んだと答えていたが、同じ言葉は今年のアカデミー賞で作品賞、監督賞など 4 部門で栄冠を勝ち取ったこの韓国映画（http://www.parasite-mv.jp）のポン・ジュノ監督に投げられても面白いと思った。なぜなら、韓国の俳優はあまりよく知らないが、パラサイト家族の父親を演じたのは私が知る限り韓国ではかなり有名な俳優だからだ。

しかし色々努力の跡は見えた。肌の色艶をやや酒やけっぽく斑に赤くし、斑点が目立つ形にメークしていた。韓国の言葉のニュアンスは私には分からないが、やはり少し工夫したのだと思う。しかしこの映画で一番キーとなったのは「臭い」です。「貧困の中で半地下の家に住むが故のこの家族の臭い」。この映画では半地下の家の外で、酔っ払いが立ち〇〇〇〇をするシーンが数回出てくる。それらや、食べ物など様々なモノの折り重なった臭いが結合して出来る独特の臭い。

六本木ヒルズのスクリーン７は三次元だが、さすがに「臭い」はしなかった。想像するしかない。今は相当違ってきたが、ソウル・オリンピックの少し後までは、韓国は都市でも独特の臭いがする街だった。映画でそれを想像するしかない。想像するしかないが、この映画では「臭い」が決定的な役割を果たす。映画の大きな筋書きを作っているといっても良い。観客が感じられない臭いを、映画の主役の一つに引き上げた。希有な映画です。

最初にパラサイト家族のインチキに気がつくのは、金持ち一家の末の、ちょっと変わった息子です。「ともに最近雇った運転手（パラサイト家の夫）と家政婦（妻）の臭いが同じだ....」と言う。この息子の両親は気がつかない。そして「臭い」は、惨劇にまで発展する。金持ち一家の夫が示す臭いへの嫌悪。それが引き金に。

まだ見ていない人が多いだろうから、これ以上は書きません。さすがに「作品」「監督」「長編映画」「脚本」の４賞を受賞するに値する映画だと私は思った。細かい事を言えば、いくらでも指摘できることはある。パラサイト一家が次々と雇われていくプロセスもどうかと思う。気がつかない方がおかしいが....

しかし韓国社会の格差を描いた割には、それほど重苦しい感じはしない。「韓国の人はこの映画を誇れるだろうか？」なんていう野暮な疑問は内にしまうことにする。テンポ良く展開し、楽しめる。脚本も監督もうまいし、俳優もそれなりきの役割を果たしている。しかし同時に思ったのは、この映画にアメリカの賞選定委員達も一票を投じるほど、この映画が取り上げている社会的格差が世界共通の問題になったという事実が重いということだ。筋書きは結構骨太だ。お勧めです。

それでは皆様には良い一週間を。

*《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤（E-mail　ycaster@gol.com）の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。》*